

2007年3月19日

お客様各位

株式会社バンガードインターナショナルフーズ

米国で発表された大規模リコールについて

拝啓

いつも、弊社商品をご愛顧いただきまして、厚く御礼申し上げます。

さて、去る3月18日米国においてペットフードの大規模なリコールが発表されました。

このリコールについて、弊社商品が関係するかどうかご心配になられる場合もあろうかと存じますので、ご報告申し上げます。

発表されたニュースは以下のような物でした。

ペットフードをリコール、死亡例10件と 米国

2007.03.18 Web posted at: 15:06 JST - CNN/AP

ワシントン カナダのペットフード大手メニュー・フーズは17日、北米向けに昨年12月3日から今年3月6日までに出荷した、イヌやネコ向けのペットフードをリコールすると発表した。米国で、同社のペットフードを食べたイヌやネコの腎不全が相次いで報告され、約10頭が死亡したためとしている。

リコール対象となっているのは、49銘柄のドッグフードと41銘柄のキャットフードで、米小売り大手ウォルマートなどのブランド名で発売されている6000万個に達する。

リコール対象の製品にはすべて、新しい供給元から購入した小麦グルテンが含まれているという。

腎不全などに陥ったイヌ、ネコの総数は明らかになっていない。また、同社の製品とペットの疾患に、直接的な関連があるかどうかも分かっていない。しかし、同社の親会社メニュー・フーズ・インカム・ファンドは「何が起きているのか、把握できていない」として、大量リコールに踏み切った。

メニュー・フーズ社は米食品医薬品局(FDA)にリコールを報告。FDAは、同社工場への立ち入り検査などに着手した。

リコール対象製品の一覧は、メニュー・フーズ・インカム・ファンドのサイト (<http://www.menufoods.com/recall/index.html>) で確認できる。

弊社のフードについてご説明申し上げます。

現在わかっている範囲では、リコール対象は缶フードであり、それに含まれる「小麦グルテン」が原因とされていますが、弊社のドライフード・缶フードについては一切小麦グルテンを使用していません。

弊社の缶フードは、米国で製造しておらず、ニュージーランドの人の食品を作る工場に製造しており、今回の会社とはなんら関係が有りません。

以上のように、該当する原材料を使用していない、該当する工場で製造していないという理由から、弊社製品については全く関係ございません。

どうぞ、ご安心してお使いいただきますようお願い申し上げます。

今後も、少しでも良い商品をご用意すべく努力して参ります。

引き続きご愛顧いただきますようお願い申し上げます、

敬具